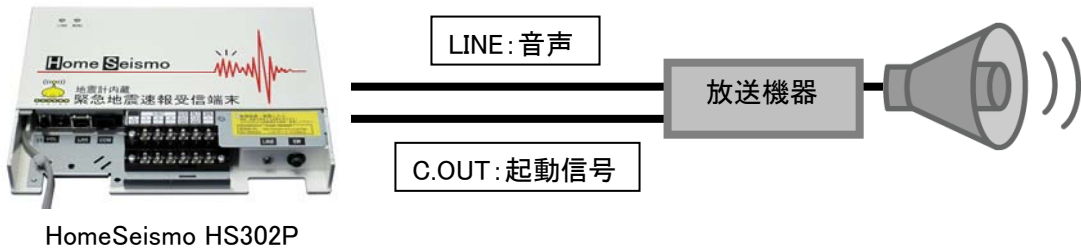


HomeSeismo HS302P を放送機器へ接続する方へ

HomeSeismo HS302P の LINE コネクタには、ステレオミニプラグ (3 極、 ϕ 3.5mm) を接続してください。
また、出力方式は非平衡となります。



LINE コネクタ : 放送機器へ音声を出力するコネクタです

出力端子	ϕ 3.5mm ミニピンジャック (3 極) ※2 極の物や、 ϕ 2.5mm のミニプラグは接続できません。
最大出力レベル	600 Ω 系において、0dBm 相当 ※負荷のインピーダンスに依り変化します。
出力方式	LINE 出力、非平衡 (片側接地…アース・GND)
放送機器の入力インピーダンス	600 Ω 以上 (推奨)
端子部アサイン	<p>Chip と Ring (モノラル(同一信号)の音声出力) パソコン用の電源付スピーカーユニットを繋いだ場合は、左右同一(同相)の出力です。</p>
備考	本端子には、外部から電圧を印加しないでください。 本端子の最大出力レベルは、VOL つまみの設定によって変化しません。

C.OUT コネクタ : 放送機器へ起動信号を出力するコネクタです

出力端子	ネジ式端子台 (端子ネジ M3)
出力方式	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3: PhotoMOS リレー a 接点出力 (本機電源断の際は開放) (※注) PhotoMOS リレーはパナソニック電工株式会社の登録商標です。
備考	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3: 最大定格 DC45V 800mA (AC30V 550mA rms) ※無極性・交流の場合、周波数は 100Hz 未満に限る。

接点出力について

放送機器の起動/終了に接点出力を使用する場合は、接点の動作は「放送連動(放送が流れている間、接点が動作)」を選択ください(初期設定は放送連動です)。設定は端末設定画面より行ってください。

放送開始遅延時間について

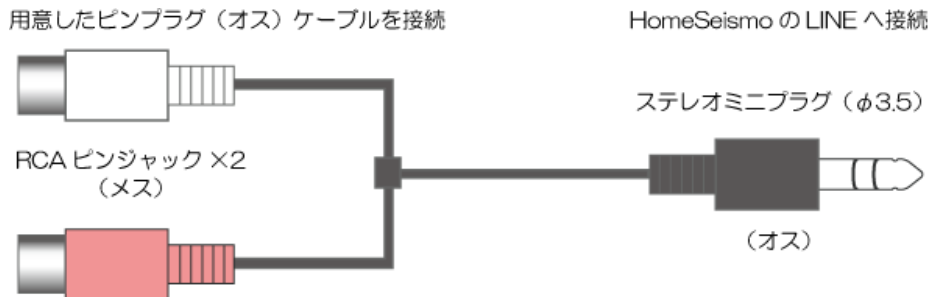
放送機器の起動に時間がかかる場合、HomeSeismo では放送開始を遅延させる設定を行うことができます。
これにより、ガイダンスを頭切れさせることなく放送することができます。設定は端末設定画面より行ってください。

オーディオコネクタの変換について

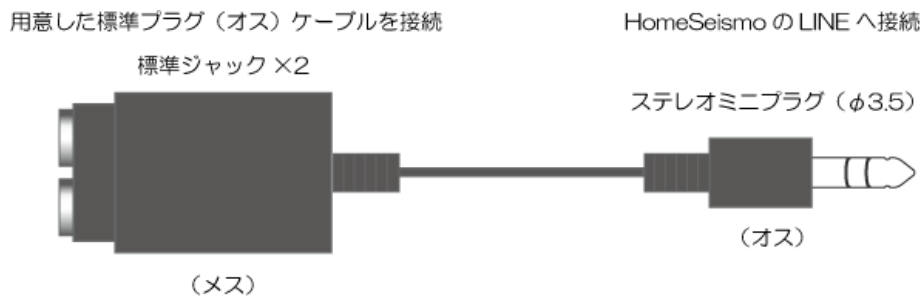
用意いただいたケーブルがステレオミニプラグ(φ3.5mm)でない場合、市販の変換ケーブル・変換アダプター等をご利用ください。

<接続例>

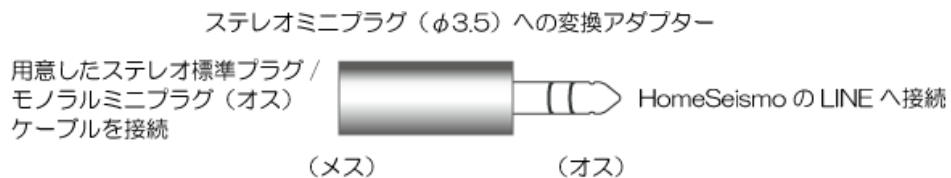
- RCA ピンプラグケーブルを用意された場合(変換ケーブル使用)



- モノラル標準プラグ(2極、φ6.5mm)ケーブルを用意された場合(変換アダプター使用)

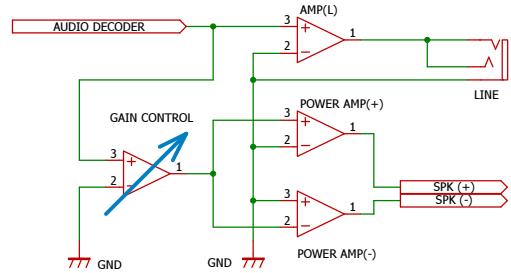


- ステレオ標準プラグ(3極、φ6.5mm)ケーブル、モノラルミニプラグ(2極、φ3.5mm)ケーブルを用意された場合(変換アダプター使用)

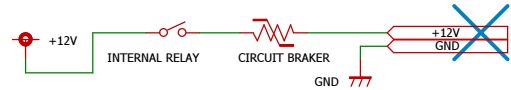


※ 壁掛けでコネクタが下になるように設置する場合には、ケーブル類は壁に固定してください。ケーブル類が固定されずにぶら下がっている状態だと、ケーブルの揺れで内蔵地震計が誤動作を起こす可能性があります。

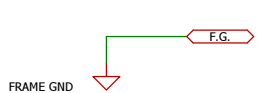
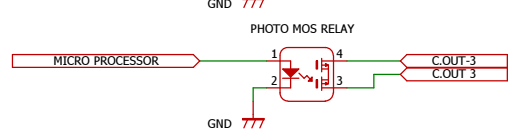
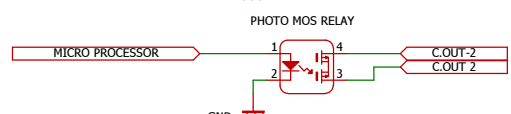
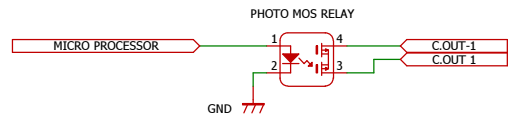
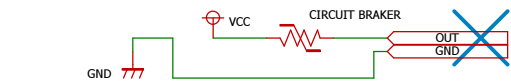
HS-302P 内部 I/F 模式図



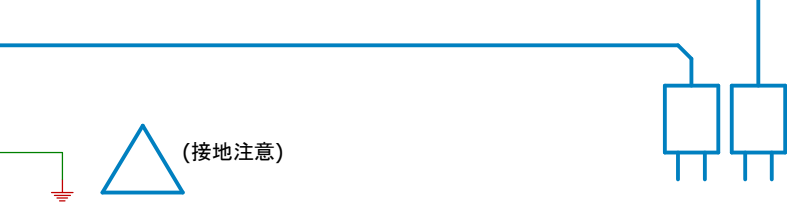
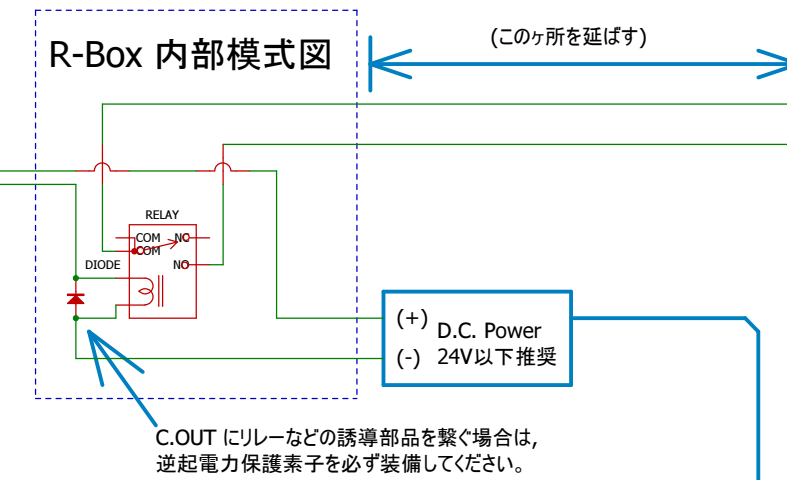
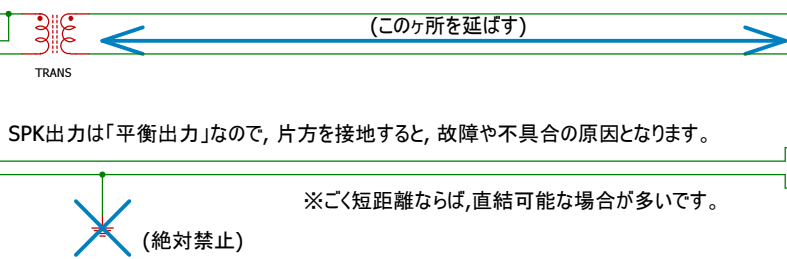
【※基本的にRLRY OUT出力は長距離延ばす用途には使えないとお考えください】



【※基本的にDC5V出力は長距離延ばす用途には使えないとお考えください】



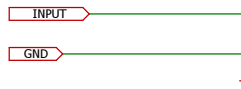
LINEやSPK に接続する配線は、余り長距離延ばすと、落雷などのサージを受けるアンテナとなる可能性が有りますので、一旦至近の絶縁トランスで受けて絶縁してから、延長する事をお奨め致します。(故障を未然に防ぐ事ができます。)



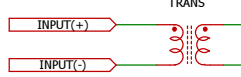
※HS-302Pは、フレームGND端子を備えて居ります。
 ごく近距離に設置された機器との間の電位差を解消するには有効な場合があります。
 しかし、互いに離れた機器間での電位差を解消する場合には注意が必要です。
 →設置環境は場合場合での違いが大きいですので、弊社からは具体的に申す事は致しかねます。

放送機器 AMP I/F 模式図

音声入力(非平衡)



音声入力(平衡)



SPK出力を繋ぐAMP入力側は、トランスで絶縁された「平衡入力」ですか？

外部に絶縁トランスを入れる場合には、トランスをHS-301の可能な限り近くに設置してください。

起動接点入力



HS-302Pと接続相手の機器との長さが、何m以上の場合に適用するのは、一概に判りませんが、何らかの不具合が生じた場合、若しくは不具合が起きる事が危惧される場合には、御検討下さい。

(A.C.100Vに接続)

HS-302Pを離れた放送機器などに接続する場合の御提案(C) Feb. 2012 A-2 Co.Ltd.